

みどり
水土里ネットだより No.20

幸野溝

幸野溝土地改良区／球磨郡湯前町2065／TEL0966-43-2062・FAX43-7155
上配水事務所／42-5089・下配水事務所／45-0204



第6回「田んぼの学校」を開催

人吉球磨地域土地改良区連絡協議会主催の第6回「田んぼの学校」が10月14日、湯前町・多良木町・あさぎり町を会場に開催されました。小学生と保護者約 名が参加、水土里ネットの仕事の内容や4箇所の「堰」の役割等について学習しました。

今回は、5月に全線開通した、球磨川サイクリングロードを利用して、上・中球磨地域に球磨川の水の恵をもたらしている4箇所の『堰』の役割、歴史等について理解を深めてもらい、合わせて球磨川の生態系・環境についてもサイクリング・カヌー等で楽しみながら学ぶことを目的に開催しました。

主催 人吉球磨地域土地改良区連絡協議会（15土地改良区）「水土里ネット」

共催 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・上球磨森林組合・JAKま・球磨川漁協・NPO法人水生き粋きネットワーク・ふるさと水と土指導員・人吉球磨サイクリングクラブ

後援 熊本県・水土里ネット熊本（熊本県土地改良事業団体連合会）

名義後援 報道関係9社

内容 ①水土里ネットってなあに？ ②郷土史家の先生によるミニ講演会 ③サイクリングコース（自転車で4大堰めぐり）、バスコース（バスで市房ダム・4大堰めぐり・市房ダムの色々な役割ってなあに？・森林の持つ色々な役割ってなあに？）④水質・生態系調査 ⑤カヌー体験教室 ⑥投げ網体験 ⑦記念植樹

今回初めて郡市外の熊本市方面からも60名近いご参加をいただき、後日アンケートのご意見欄に「おもしろかった、また参加したい」等の良好な結果が得られスタッフ一同安堵しております。

最後に、多くの各関係団体のご協力により好評のうちに無事終了できました。心から感謝申し上げます。

「田んぼの学校 in 球磨の大堰めぐり」

実行委員長 豊永 郁夫

農地・水・環境保全向上対策活動取り組みについて

平成19年4月に水土里ネット幸野溝受益地内の湯前町・あさぎり町に環境保全隊が結成され、7月に両町と協定を結びました。水土里ネット幸野溝は、両保全隊の統括（事務局・会計）として参画しています。

※活動につきましては、下記役員さんを中心に集落・団体・個人のご協力をお願いします。

◆あさぎり町幸野溝地区地域資源保全活動隊役員紹介◆

■地区住民代表（敬称略）

- 熊野区 久我 正盛
- 竹野区 恒松 龍紀
- 桧山区 立山 一幸
- 別府区 宮原 政徳
- 齊堂区 吉井 潤一
- 開墾区 桑原 照光
- 福留区 石塚 哲哉
- 永岡区 寺田 専一
- 神殿原区 久保 勝美

■農業者等代表（敬称略）

- 宮原 辰紀 井本 清一
- 桑原 照光 吉鶴 一男
- 宮原 熊夫 生森 優
- 中神 一富 別府 誠司
- 松本 圭司 吉武 一穂
- 那須 昭浩 嶋田 道雄
- 生田 賢治 廣瀬 千里
- 寺田 専一 中原 和親
- 緒方 保裕

◆湯前地区地域資源保全活動隊役員紹介◆

■地区住民代表（敬称略）

- 下城区 池田 虎麿
- 古城区 西 義治
- 浅鹿野区 村上 正八
- 野中田2区 山中 虎雄
- 下村区 伊藤 清喜
- 上里1区 桑原 征一郎
- 上里2区 丸山 羊一
- 上里3区 高木 國廣
- 上染田区 北御門 浩
- 下染田区 那須 登仁男

- 中里1区 田上 重男
- 下里区 鬼塚 厚之
- 植木区 皆越 貞利

■農業者等代表（敬称略）

- 赤池 精一郎 岩野 文二
- 笹田 長吉 柴田 豊明
- 皆越 貞利 江崎 邦弘
- 澁谷 栄一 東 龍彦
- 山口 洋史

■事務局・会計 水土里ネット幸野溝 理事長 豊永 郁夫・書記 富田 道孝・会計 野村 信夫



岡原小学校との生き物・水質調査



掘揚溝草刈・土砂浚渫作業



湯前小学校・NPOとの木炭設置作業



事例発表・研修会

農業用水水源地域保全対策事業(ソフト事業)に取り組みます

○農業用水と水源林の関わりについて、理解を深めることや水源林により涵養された農業用水の有効利用を図ることを都道府県が策定する基本計画に基づいて普及促進する事業です。

(事業実施期間：平成19～24年度)

普及促進活動についての協議組織の設置・体制づくり

流域水土里ネット連携協議会の設立

施設案内の作成・設置

- * 農業用水と水源林との関わりを説明する案内
- * イベントでの広報活動
- * 農業用水を理解する学習会
- * 水源林を理解する体験学習会
- * シンポジウム



パンフレット・事例集等の作成

広報活動・シンポジウム・体験学習会等の開催

堆砂の進行を抑制
農業用水の安定取水

農業用水のための森林整備の必要性の啓蒙普及

農業水利施設の多面的機能
(防火用水)

普及活動に必要な調査・企画調整・計画策定

普及促進対策（農村振興局事業）

- 農業用水と水源林に係る理解を深める活動等の実施
- 事業主体：土地改良区・都道府県土連・市町村
- 補助率：国100パーセント

田んぼの学校 in 球磨の大堰めぐり



幸野溝堰についての学習



百太郎溝堰についての学習



水質調査についての学習



カヌー体験

サイクリングロードを使っでの移動



木材加工場見学

平成18年11月～19年10月 視察研修来所一覧

県内・外の水土里ネット、事業所、小・中学校から当水土里ネットを訪問頂き厚くお礼申し上げます。

今後とも出来る限りの情報提供に努めてまいりたいと思っております。

団体

- 末吉町高松土地改良区 (鹿児島県)
- 大分県豊後大野市土地改良区事務局連絡協議会
- 農林水産省農村振興局水利整備課施設管理室長一行視察
- 福山町土地改良区 (鹿児島県)
- 川辺町土地改良区 (鹿児島県)
- 水土里ネット八女市 (福岡県)
- 大菊土地改良協議会
- 大川中部土地改良区 (福岡県)



小学校・中学校

- 久米小学校 (2回)
- 万江小学校
- 湯前小学校 4年生
- 湯前中学校 1年生 (3回)

土地改良区からのお願い

土地改良区の未収入賦課金の解消

- (1) 土地改良区の施設は皆さんの収めていただく賦課金で運営しています。納期内に完納しましょう。
- (2) 未収納金が増加しますと、土地改良区の運営が困難になりますので、受益農家の皆様方のご理解とご協力をお願いします。
- (3) 土地改良区の運営・施設の維持管理のための賦課金 (経常賦課金)
- (4) 県営及び団体営事業等の借入れ金を償還するために係る賦課金 (特別賦課金)

農業用水の有効利用

- (1) 限られた水を有効に利用するために各農家の協力が不可欠です。
- (2) かけ流しを絶対に無くし、用水の節約に努めましょう。
- (3) 水はお金です。有効に大切に使いましょう。

農地及び組合員に移動があったなら土地改良区に届出を

- (1) 農地の売買。
 - (2) 農地を借りた、貸した。(所有地・小作地)
 - (3) 農業者年金の受給手続。
 - (4) 現組合員の名義変更。(死亡・相続・離農)
- ※この通知義務を怠ると、元の組合員の方に従前ままの面積で賦課徴収しますので、ご注意ください。

役員 (理事・監事) 及び総代改選について

平成20年度は、役員及び総代の改選期にあたります。
役員は総代による選任制、総代は組合員による立候補制で、任期はそれぞれ4年間となっております。
※詳細につきましては、事務所までお尋ねください。

平成19年度 収入支出予算の執行状況

(平成19年8月31日現在) (単位：円)

収 入			支 出				
款 別	予算額	収入済額	未収入額	款 別	予算額	支出額	支出残額
1. 組合費	50,063,400	24,426,800	25,636,600	1. 事務費	24,840,725	9,553,387	15,287,338
2. 財産収入	3,000	104,282	△101,282	2. 選挙費	5,000	0	5,000
3. 使用料	275,000	27,860	247,140	3. 事務所費	405,400	337,140	68,260
4. 補助金	20,712,000	300,000	20,412,000	4. 維持管理費	12,072,800	6,783,144	5,289,656
5. 寄付金	1,000	0	1,000	5. 事業費	10,000	0	10,000
6. 雑収入	218,000	357,507	△139,507	6. 財産費	2,149,000	44,770	2,104,230
7. 借入金	31,147,000	0	31,147,000	7. 借入金	23,811,000	0	23,811,000
8. 繰越金	2,000,000	4,126,356	△2,126,356	8. 負担金	31,510,000	225,970	31,284,030
				9. 補助金	1,000	0	1,000
				10. 諸 費	7,311,000	4,295,624	3,015,376
				11. 予備費	2,304,475	0	2,304,475
計	104,419,400	29,342,805	75,076,595	計	104,420,400	21,240,035	83,180,365

平成18年度 決算の内容

(単位：円)

収 入		支 出	
款 別	決算額	款 別	決算額
1. 組合費	49,078,150	1. 事務費	29,259,086
2. 財産収入	5,742,333	2. 選挙費	0
3. 使用料	308,460	3. 事務所費	451,349
4. 補助金	16,580,679	4. 維持管理費	14,413,493
5. 寄付金	0	5. 事業費	0
6. 雑収入	534,294	6. 財産費	2,044,370
7. 借入金	31,953,678	7. 借入金	20,022,390
8. 繰越金	5,125,867	8. 負担金	32,493,283
		9. 補助金	0
		10. 諸 費	6,513,134
		11. 予備費	0
計	109,323,461	計	105,197,105

収入支出差引残金

4, 126, 356円 平成19年度へ繰越

監査の結果、上記のとおり

相違ないことを認める。

平成19年8月9日

総括監事 岩野文二 ㊟

監 事 米良了 ㊟

” 宮原熊夫 ㊟

平成19年9月25日 総代会議決

財産目録

(平成19年5月31日現在)

資 産

流動資産 (現金、預金、未収入金)

…………… 7,796,416円

特定資産 (積立金)

…………… 52,767,466円

土 地 (事務所敷地他)

…………… 6,549,000円

建物設備 (事務所他)

…………… 22,363,000円

工事用機械器具…………… 2,466,760円

備 品……………15,781,554円

基本財産中固定資産… 95,060,332円

(山林)

資産合計…………… 202,784,528円

負 債

長期負債…………… 338,207,854円

(農林漁業資金借入金)

短期負債…………… 25,061,309円

(積立金引当金等)

負債合計…………… 363,269,163円

財務状況報告

規約第45条、及び会計細則第49条により、
幸野溝土地改良区の財務状況を公表します。

土地改良区の会計年度は、毎年四月一日から翌年三月三十一日までとし、五月末で出納閉鎖して決算をします。
年三回の定期監査の他、九州農政局及び県の定期検査が実施され、事業並びに土地改良区運営の全般に亘り、検査、監査が行われ、土地改良区の正確かつ健全な運営が図られるようになっていきます。